

聞こえる人も、
聞こえない人も

手話で
楽しむ
第5回

能狂言
鑑賞会

インクルーシブ NIPPON Shinagawa 発 2020 能・狂言特別公演 プログラム C

手話狂言「簀屑」 / 手話能「土蜘蛛」

令和3年 8月22日(日) 13:00開演 (12:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

- チケット(全席指定) 3,500円 前売開始: 令和3年 7月8日(木)
- チケット取扱い 喜多能楽堂 TEL: 03-3491-8813 (10:00~18:00)
ホームページ <http://kita-noh.com/> (要事前登録・無料)

「土蜘蛛」シテ・大島輝久(撮影:前橋写真館)

社会福祉法人トット基金理事長
“黒柳徹子さん”ご推薦



お能を手話で楽しむ会を、喜多能楽堂の皆様がお考え下さいました。手話通訳はもちろんのこと、能楽師の方が、手話で演じられるのです!お囃子や「間」もわかって頂けるよう、「ボディソニック席」もあるそうです。本当に楽しみです。沢山の皆様が劇場に足を運んで下さいますように!

主催:公益財団法人十四世六平太記念財団、品川区 共催:公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
協力:社会福祉法人トット基金、一般社団法人三宅狂言会 後援:社会福祉法人品川区社会福祉協議会、東京都聴覚障害者連盟
助成:文化庁文化芸術振興補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

お問合せ: 喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813
FAX. 03-3491-8999
<http://kita-noh.com/>

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきます。ご了承ください。



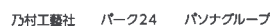
Tokyo 2020 NIPPON Festival Official Partners



Tokyo 2020 NIPPON Festival Supporting Partners



Tokyo 2020 NIPPON Festival Associating Partners





聞こえる人も聞こえない人も一緒になって能狂言を楽しんでほしい。そんな思いを込めて喜多能楽堂では「手話で楽しむ能狂言鑑賞会」を開催しています。長く国内外で高い評価を受けている日本ろう者劇団を迎えて手話狂言を披露していただくとともに、同劇団の協力によって能楽界では他に例のない、出演者自身の手話と手話同時通訳による能の上演に取り組みます。演目は手話狂言の代表的レパートリーから「簸屑」と喜多流の能「土蜘蛛」。日本を代表する伝統演劇の上演が、手話という“見る言葉”の力を借りてどのような新しい姿を見せるのか、どうぞご期待ください。

プログラム

◎ 解説 (手話通訳付き)

本日の公演について手話通訳を交えて解説

- 大島輝久 (シテ方喜多流) 三宅近成 (狂言方和泉流)
田家佳子 (手話通訳)

◎ 手話狂言「簸屑」

主に茶の簸屑 (箕でふるって残った屑) を挽くよう言われた太郎冠者。挽くうちに居眠りを始めた太郎冠者に、次郎冠者がこっそりと鬼の面をかぶせると…。

三宅狂言会の声の出演に合わせて、日本ろう者劇団のメンバーが生き生きとした対話としぐさを息の合った手話で演じる狂言です。

- (シテ・太郎冠者) 鈴まみ
(アド・主) 数見陽子
(小アド・次郎冠者) 江副悟史
(声の出演) 三宅狂言会



◎ 能「土蜘蛛」 (手話同時通訳付き)

病床につく源頼光に薬を届けに来た侍女の胡蝶が去ると、いつのまにか怪しい僧が現れます。古歌を詠じた途端に僧は蜘蛛の糸を投げて襲い掛かりますが、頼光は撃退。駆け付けた独武者が僧の流した血を見つけ、従者とともにその跡を辿り古塚に至ると、土蜘蛛の精が姿を現し糸を繰り出す土蜘蛛と武者たちの激しい戦いが始まります。

手話通訳だけではなく、出演者みずから手話を交えて演じるという前代未聞の一番です。

- (前シテ・僧、後シテ・土蜘蛛の精) 大島輝久
(シテ連・頼光) 佐々木多門
(シテ連・太刀持) 佐藤陽
(シテ連・胡蝶) 塩津圭介
(ワキ・独武者) 村瀬提
(アイ・独武者の下人) 三宅近成
(笛) 杉信太郎
(小鼓) 田邊恭資
(大鼓) 大倉栄太郎
(太鼓) 大川典良
(地謡) 粟谷明生 長島茂 狩野了一 金子敬一郎 内田成信
(後見) 塩津哲生 高林伸二
(手話通訳) 田家佳子 清田真見

日本ろう者劇団

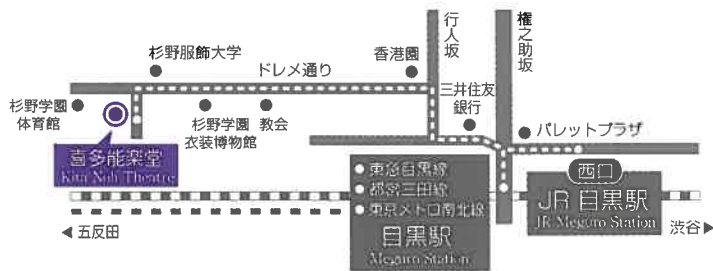
女優の黒柳徹子さんが設立された社会福祉法人トット基金が昭和57年に発足した、ろう者を主体としたプロの劇団。三宅狂言会の指導による手話狂言、劇団独自の創作による視覚演劇、サインマイム、ムーブメントシアターなどの公演を各地で行い、演劇を通してろう者の文化の向上に努めている。中でも手話狂言は新しいジャンルの演劇を創ったことで数々の栄誉に輝いた。欧米各国での公演を通して海外との文化交流にも力を入れ、日本を代表するろう者の劇団としますます活動の場を広げている。 http://www.totto.or.jp

● 2つの補助サービスを用意します

バイオニア ボディソニック 音楽は耳だけで聴くものではなく、体全体で感じるもの。この考えからバイオニア株式会社が開発したシステム。振動装置が組み込まれたポーチとザブトクッションで、聴覚障がいの方も全身で音楽を楽しむことができます。同社の社会貢献活動としてこのシステムによる「身体で聴こう音楽会」を各地で開催しています。 https://jpn.pioneer/ja/corp/society/karadadekikou/

ソナール ヒアリングループシステム ヒアリングループ(磁気ループ)は難聴者を支援するシステムです。電線の中で生まれる磁力を補聴器で感知し、聞こえる音声にします。補聴器では聞きづらいセリフや音楽が聴きやすくなり、難聴の方が今まで体験できなかった能狂言鑑賞をご堪能いただけます。 http://www.sonar-loop.jp/

会場 十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。 ※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。



● 手話通訳：立ち位置

※ 能「土蜘蛛」の手話通訳は1階客席前方の2カ所で行います。

ソナール ヒアリングループエリア

正面 1列 4~15

バイオニア ボディソニックエリア

正面 ほ列 4~15
へ列 4~15

